

苦小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苦小牧市教育委員会 第 4 回 定例委員会
日 時	令和2年3月27日 自 15時00分 至 16時33分
場 所	第2庁舎1階会議室
出 席 委 員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 植 木 忠 夫 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 武 曾 真 弓
事 務 局 職 員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 口 朋 史 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 教 育 部 参 事 前 田 辰 夫 総 務 企 画 課 長 齋 藤 貴 志 学 校 教 育 課 長 阿 部 秀 明 生 涯 学 習 課 長 白 川 典 之 生 涯 学 習 課 主 幹 藤 原 誠 第 2 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 宮 嶋 和 久 総 務 企 画 課 主 査 前 田 亜 矢 子 総 務 企 画 課 主 任 主 事 武 曾 真 弓
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3	会議録の承認
	（五十嵐教育長） 第2回定例教育委員会（令和2年2月7日開催）、第3回臨時教育委員会（令和2年3月6日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（五十嵐教育長） 新型コロナウイルス感染症対策に関し、文部科学省及び北海道教育委員会から要請を受け、学校の臨時休業を実施するなど、様々な動きがあったこの1か月でしたが、市内小中学校においては、3月24日に分散登校日を設定する形で修了式を行い、令和元年度の授業を終了いたしました。また、3月6日の教職員人事異動の内示を受けて、新年度に向けた学校体制の準備を進めているところです。
	新型コロナウイルスの影響により、2月下旬から3月までに予定されていた行事等については、ほとんどが中止又は延期となりましたが、2月7日の定例教育委員会議以降の主な事業について報告します。
	2月12日には、令和元年度胆振管内教育委員会委員研修会が洞爺湖万世閣レイク

<p>サイドテラスで開かれ、佐藤委員とともに出席してまいりました。研修会は2日間の日程でしたが、スケジュールの関係で初日のみの参加となりました。特定非営利法人ほっかいどう学推進フォーラムの新保理事長から「GIGAスクール構想と働き方改革」をテーマとしたタイムリーな講演がありました。教育ICT化の推進を学校現場の人手不足解消につなげていかなければならないとの思いを強くしました。</p>
<p>翌13日には、岩倉市長と市民が市政の現状や課題について意見交換を行う「まちづくりトーク」が第1学校給食共同調理場2階研修室で開催され、学校給食会の理事会メンバーとともに出席してまいりました。コミュニティ・スクールの取組や明野地域における連携による学校づくりをテーマに、校長やPTA役員など出席者から積極的な意見が出され、有意義な催しであったと思います。</p>
<p>15日には、苫小牧市出身の劇作家、水谷龍二氏の作、演出による「男の純情」の公演が文化会館で行われました。前評判が高く、チケットは早くに完売したと聞いておりましたが、期待にたがわぬ素晴らしい芝居を楽しむことができました。満員の観客は、民族共生象徴空間ウポポイの開設PRアンバサダーも務める宇梶剛士氏の熱演にも満足した様子でした。</p>
<p>22日は、委員の皆様のご出席をいただき、午前10時から明德小学校閉校記念式典が同校体育館で行われました。また、午後2時から惜別の会が、グランドホテルニュー王子で盛大に開催され、明德小学校に縁のある多くの関係者が37年間の足跡を懐かしみ、名残を惜しんでおられました。</p>
<p>実は、この惜別の会が行われている最中に、苫小牧市在住者の新型コロナウイルス感染発生の一報が入り、同日午後4時半から市役所内で第1回新型コロナウイルス対策本部会議が開催されることとなりました。この後、25日の鈴木北海道知事から全道一斉臨時休校の要請、27日の安倍首相の全国一斉の休校要請、そして28日の知事の緊急事態宣言へと続き、市内小中学校を3月24日まで休校することとなります。</p>
<p>第6回市議会定例会も新型コロナウイルスの関係で、2月20日から3月6日まで、会期を1週間短縮して開催されました。令和2年度の教育行政執行方針に対する代表</p>

<p>質問は、2月27日、28日の2日間、本来の質問時間60分を30分に短縮して行われ、教育費の予算案は、3月5日の予算審査特別委員会で審議されました。</p>
<p>議員の質問項目としては、「外国語教育の推進」「小中一貫・連携教育」「特別支援教育」「特別支援学校」「いじめと不登校問題」「コミュニティ・スクール」「学校の働き方改革」「多子世帯給食費助成」「情報機器利用」「成人式」など多岐にわたっていましたが、4人の議員が取り上げたのが「外国語教育の推進」でありました。</p>
<p>令和2年度からALTを6人から14人に増員し、全中学校区に配置を拡大し、イングリッシュカフェなど様々な取組を展開し、まちの国際化につなげていく方針を示しております。</p>
<p>3月14日には中学校の卒業式が、3月19日には小学校の卒業式が、ウイルス感染症防止対策を講じ、規模を縮小して行われました。中学校は卒業生と教職員のみでの出席とし、小学校は式を学級単位で分けて保護者も出席して行うなど、工夫しながら、開催されました。校長を始めとする教職員の取組に対して、また保護者の皆さんのご理解とご協力に感謝を申し上げます。</p>
<p>23日、2名の教員が胆振教育局山上局長から表彰状の伝達を受けました。まず、日新小学校の梅田絵里子教諭が、小学校の外国語活動を推進する教員の指導的役割と授業力向上に大きな成果を挙げたことにより、文部科学大臣優秀教職員表彰を受けました。また、明德小学校の河毛留美教諭は、道徳の教科化に向けた授業づくりや研修講師としての道徳教育の指導力向上の功績が認められ、北海道教育実践表彰と胆振管内教育教職員表彰を受けております。</p>
<p>最後に人事についてであります。会議次第の6報告・協議の第1号、第2号は、教職員と教育委員会事務局職員の人事異動に伴う報告であります。委員会を開催する暇がなかったことから、臨時代理により機関協議等の事務処理を行いましたので、別途報告をさせていただきます。なお、教職員の辞令交付については、4月2日に行う予定です。</p>
<p>報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。</p>

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 苫小牧市教育委員会事務局の組織等に関する規則等の一部を改正
する規則について

(教育部長) -苫小牧市教育委員会事務局の組織等に関する規則等の一部を改正
する規則について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいで
しょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。

第2号 苫小牧市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する訓令
の一部を改正する訓令について

(生涯学習課主幹) -苫小牧市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する訓令の一部を改正する訓令について説明-
(五十嵐教育長) 確認ですが、本来であれば沼ノ端交流センターがオープンした日付から行うべきであった手続きが遅れていたということでしょうか。
(生涯学習課主幹) 沼ノ端交流センターは指定管理者が運営しておりまして、中に図書コーナーがありますので、本来であれば図書コーナーが開設される前に補助執行等の手続きをしておくべきでしたが、市長部局側での整理がついていなかったこともあり、遅れてしまったものでございます。
(五十嵐教育長) 実際にオープンしたのは何年何月からですか。
(生涯学習課主幹) 平成30年10月29日からオープンしています。
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。
第3号 苫小牧市立学校における働き方改革取組方針について
(学校教育課長) -苫小牧市立学校における働き方改革取組方針について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(齋藤委員) 先生方の残業は何が原因で起きていることが多いのでしょうか。中学

校の先生の部活動等が多いのかと思いますが、どういう業務が多いのでしょうか。
(学校教育課長) 考えられるのは、おっしゃられたように中学校の部活動に関する時間が一番多いと考えております。その他、保護者会や通常の授業の準備等を含めまして、通常の勤務時間内では終わらないという現状があるものと考えております。
(五十嵐教育長) この取組方針について改訂した後はどのように周知等を行うのでしょうか。
(学校教育課長) 昨年度と同様に、学校長宛にメール配信しまして、学校長を通して校内の教員に周知することを考えています。
(齋藤委員) 部活動の時間外労働を減らすという面では、部活動休養日等の完全実施等で解消されると思いますし、保護者や地域への理解促進も図られていくと思うのですが、例えば仕事を家に持ち帰るといった危惧があるのではないかと思います。それはどのように解消することをお考えでしょうか。
(教育部参事) 授業の準備に取り掛かるまでの様々な業務があるということと、学校自体がスクラップアンドビルド、新しいことを始めたときに旧体制のものを無くしていくことが苦手な体質があると言われております。良いことは積み重ねていくことをしてきたために、壊していかなければならなかったものが蓄積されてきた状況にありまして、これからは会議の在り方ですとか教材研究の仕方自体を改善していくということで、働き方の量だけではなく質の変化を行わないと改善していかないと考えております。
(岡田委員) 教育の水準を下げたいけないと思うんですけど、先生方の増員についてはどうにお考えでしょうか。
(学校教育課長) 増員につきましては、欠員が生じないように補充するよう道教委と協議調整していくことに尽きると思います。それに加えまして、先生のサポートをする体制として専門的なマンパワーの投入についても検討していかなければならないと考えているところでございます。
(佐藤委員) 働き方改革で様々なことをお考えになって目標値を設定しているので、

その記録もなければ可視化しにくいと思うのですが、かえって記録することで業務が増えるのではとも思うんですけど、どのように記録していくのかお考えがあれば教えていただきたいと思います。

(学校教育課長) これまでの教職員の勤務時間の記録方法につきましては、基本的に管理職の現認をもつての管理が主であるんですが、4月以降に予定しているのは校務支援システムを活用した出退勤の管理をするシステムを構築しようと考えて進めております。

(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第3号は原案どおり決定いたしました。

第4号 苫小牧型小中連携教育推進基本方針について

(教育部参事) -苫小牧型小中連携教育推進基本方針について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(佐藤委員) お願いなのですが、業務が新しくなると慣れていくまで時間がかかると思いますけど、先ほどの働き方改革であまり負荷がかからないような取組をしていただきたいということと、結果を出すためのアンケート等に答えなくてもいいような

形で進めていただければ、その時間を有効に使えていいのではないかと思います。

あと、遠隔会議等の構想をされていると思うのですが、どのあたりまで対応することを考えておられるのでしょうか。あると便利で、出向かなくてもよくなるので時間の節約にもなりますし働き方改革にもつながると思いますので、わかっている範囲で教えていただきたいと思います。

(教育部参事) まず、ご要望については、負荷が増えるのでは本末転倒になってしまいますので、できる限り蓄積されたものを活用しながら新しいシステムにしていきたいと考えております。

また、遠隔等の会議の在り方については、現在も校務支援システムで情報交換を行うことができるようになっていて、エリア会議も年に4、5回は校務支援システムで行っている学校もあります。それに加えて、まだ検討段階ですが、生徒会や児童会等についてインターネットを介してできないかということも検証しているところです。

(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第4号は原案どおり決定いたしました。

第5号 苫小牧市図書館蔵書整備計画について

(生涯学習課主幹) -苫小牧市図書館蔵書整備計画について説明-
(五十嵐教育長) 確認ですが、図書館をもっている所は必ず蔵書整備計画を定めなければならないと法律上に規定があって作る計画なのか、それとも規定はないけれども自発的に作るというものなのでしょうか。
(生涯学習課主幹) 法律等には特段規定はございません。これまでも収集基準や収集要領に基づいた蔵書整備をしていたんですけども、中長期的な視点を踏まえて蔵書整理をする必要があるのではないかという考えから、この度、新たに策定するものがございます。
(佐藤委員) 資料の除籍について基準が決められていますが、教育委員の中で担当を決めて、除籍について決めていくということなのでしょうか。
(生涯学習課主幹) 除籍につきましては、除籍基準に基づいて指定管理者が除籍する候補リストを作成して教育委員会で内容を確認し、最終的には教育委員会が承認したもののについて指定管理者が除籍をしていく形になっております。
(佐藤委員) わかりました。あと、除籍にも関係していると思うんですけど、市民の共有財産であるということを利用者が理解しなければ本を雑に扱ってしまうと思います。市町村の図書館だけではなく、学校図書館も含めて利用に関する教育が徹底していないところがあります。子供たちに読書活動を推進することに関係してくると思うんですけど、財産として意識をして大切に扱うということをどこかで教えていく、伝えていくというお考えがあるのか、教えていただきたいと思います。
(生涯学習課主幹) 教育というところでは現在ないんですけども、中央図書館の取組として各テーマに基づいた展示を月に1回行っております。その中で、汚損、破損された資料等を展示しています。ただ、本が少し破れたときには自分でテープを貼らずに図書館に持ち込んでくださいといったことも展示を通じて利用者に情報提供をさせていただいています。
(佐藤委員) わかりました。美術館や博物館を担当していらっしゃる方が、子供だけではなく大人を含めて財産としてきちんと残しましょうとしていて、大人にも伝え

<p>ていただきたいと思います。</p>
<p>(岡田委員) 図書館の書籍の情報と各学校図書館の情報のやり取りはあるのでしょうか。</p>
<p>(生涯学習課主幹) 図書館システムにおいて、中央図書館と市内の図書コーナーについては情報を共有しています。学校とはそういった共有はないのですが、代わりに「ブックちゃん」という事業がございまして、学校の指導要領に基づいて本のセットを図書館で用意させていただいております。こういうものがあることは学校と情報共有をしたり、図書館から情報提供したりという取組はしております。</p>
<p>(齋藤委員) 新しく購入する本と除籍する本のバランスはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>(生涯学習課主幹) 現状として、1万3千冊から1万4千冊程度の本が新たに図書館に入っています。それに対して、汚れたり利用価値が低下してきたりして除籍になる本が1万冊程度でございます。その差分が少しずつ増加しているところがあるんですけども、基本的には新しい本を入れたりしながら新鮮な情報を提供できるようにと考えております。</p>
<p>(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、議案第5号は原案どおり決定いたしました。</p>

第6号 苫小牧市学校評議員の委嘱について
第7号 教職員の処分について（報告）
第8号 教育委員会職員の処分について（諮問）
（五十嵐教育長） 議案第6号から議案第8号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
（五十嵐教育長） それでは、議案第6号から議案第8号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議を行うことに決定いたしました。
6 報告・協議
報告（1）教職員の人事異動に係る内申について
報告（2）教育委員会職員の人事異動に係る協議について
（五十嵐教育長） 報告第1号及び報告第2号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）

<p>(五十嵐教育長) それでは、報告第1号及び報告第2号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議を行うことに決定いたしました。</p>
<p>報告(3) 新型コロナウイルス感染症対策について</p>
<p>(教育部長) -新型コロナウイルス感染症対策について説明-</p>
<p>(五十嵐教育長) 昨日、各市町村の教育長がそれぞれの振興局に集まって、本庁と繋いだテレビ会議を行いました。道教委から本日にでも通知が届くと思いますが、原則としては新年度から児童、生徒、先生がマスク着用の上で授業を再開するということでした。ただ、いろいろな意見が出ておまして、マスク着用は原則の話としてはわかるけれども、実際には入手できない状況もあり、マスク着用していない子供は授業に出てはいけないのかという意見もありました。そういう極端な話ではなく、どうしても無い場合はハンカチ等の咳エチケットを行うことで対応することも否定はしないけれども、基本はマスク着用でお願いしたいとの話がありました。あとは、学校を通じて家庭やPTAに対し手作りマスクのお願いをしてくださいという話もありました。</p>
<p>質疑に付します。何かございませんか。</p>
<p>(齋藤委員) 風邪の症状がある場合は登校させないとあるんですが、風邪の症状について各家庭で価値観の違いがあると思います。少し鼻水が出ているだけで風邪だと思ふ家庭もあれば、鼻水ぐらいでは風邪ではないと考える家庭もあると思います。判断は各家庭に任せるということなのではないでしょうか。それとも、検温をお願いして何度以上であったら登校させないでという指針を出すようなことはあるのでしょうか。</p>
<p>(教育部参事) 検温につきましては、毎朝お願いをする形をとっております。新年度が始まりましたら、当面の間、登校してきた子供に学校で記録化させる取組をする予定でございます。風邪の判断について、保護者から風邪等の疑いがあることで心配なので欠席させるといった場合については、出席を要しない日にすると道教委から通知が</p>

ありましたので、そのように扱うこととなっています。欠席者が増えることについては懸念しているところでございます。

(齋藤委員) 検温を確認するのは、検温票のようなものに保護者が記入して学校に毎朝出すという形でしょうか。それとも、先生が子供たちに聞いて確認するという形なのでしょうか。

(教育部参事) 検温票については一律のものを用意しますが、記入については学年の発達段階によると思います。小学生の低学年ですと覚えておいて書きなさいというのもできないので保護者にご協力いただくこともあると思いますし、中学生であれば自分たちで記入することになると思います。

(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

7 その他

(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（五十嵐教育長）・・・16時33分